

SAK だより

Ski Association of Kanagawa

(財)神奈川県スキー連盟

横浜市神奈川区台町16-1 ソレイユ台町407号室

電話 045 (311) 8907 FAX 045 (324) 6966

●発行者：山田 隆 ●編集責任：徳本 進

http://www.sak.or.jp/

SAK活性化への 本格的なアプローチ

※ 答申の詳細は、ホームページをご覧ください。



活性化委員会の答申から

去る6月30日、前号でも紹介した神奈川県スキー連盟活性化委員会（竹腰誠委員長）の答申「スノースポーツの活性化について」が提出されました。

答申は、スキー人口の大幅な減少と、スノースポーツ愛好者の人口が伸び悩んでいることや、スノースポーツを楽しんでいた人たちが、スキー場に姿を見せない原因をさぐることから始まっています。日本経済の低迷だけでなく、余暇活動の多様化や少子・高齢化、就学・就業構造の変化にも目を向け、新しいスノースポーツの可能性を求め、今後向かすべき目標を考へながら、「活性化」実現のための具体策を提案しています。

ジュニアに関して

競技会を充実するとともに、ジュニアの育成プログラム等にスノースポーツの魅力を十分に伝えるシステムを導入するよう求めています。

マスターズ世代への働きかけ

スノースポーツに参加するモチベーションを高いレベルで維持できるようなアプローチを考へることが必要とされています。

グレンデから遠ざかっている女性

女性のためのクリニックや研修会等の

企画により出産・育児等のプランクから復帰しやすい環境を整えることが提案されています。

教育部・競技本部

本県独自の指導者育成プログラムとして、他のスポーツ団体との交流を始め、専門委員評価システム確立等研修体制の充実と、全日本技術選手権の決勝に進める選手やナショナルデモの発掘・強化を目指し、また、競技本部では障害やメンタル面でも、専門的知識を有するスタッフの招聘・養成を行い、全国大会での上位入賞を目標とした組織作りを求めています。

活性化委員会に参加してみ

なんと私、守谷が活性化委員に選ばれてしまいました。そこで、現場からのレポートです。

活性化の委員になったことを聞いて、「これは、広報委員会で言いたい放題言っているのがばれたか」というのが正直な感想でした。「それなら、思いっきり吹きまくってやれ」と思ったのですが、どっこい、各委員とも「つわもの」揃いでそれはいきません。スノーボードやいろいろな遊びの達人M委員、ジュニア育成の専門家S委員、泣く子も黙る基礎界の重鎮O委員、若いけれど冷静沉着なN委員、独特の切り口で

活性化検討の継続

スキー連盟関係だけでなく、企業・政財界・教育・行政関係者等幅広い層から人材を集め、活性化プロジェクトを立ち上げるという提案がありました。

最後に

中長期的な課題のほかに、すぐに実施可能な提案も含まれており、これらを足がかりにした活性化策の推進を求めています。そして、全国第4位の登録者数を誇る本連盟の試みが、さらに続くプロジェクトにおいて、有効に活用されることを望みながら答申は結ばれています。

鋭い持論を展開するM委員、女性の視点で貴重な提案をしてくれたA委員と、正副委員長さんお疲れさまでした。

皆さん、いろいろなセクシヨンの代表ということで、多様なものの見方を教えられたこともさることながら、各委員が共通してスノースポーツに対する熱い「思い」を持ち続けている仲間なのだということに気づかされたことが非常に大きな収穫だったと思います。

答申までの期間が短く、十分に議論できなかった部分もありますが、竹腰委員長のお骨折りによって、委員の皆さんの「思い」が詰まった答申になり、これでSAKの前途に明るい兆しが見えてくることを願ってやみません。

SAK広報委員 守谷 紀幸

平成15年度執行方針 山田隆専務理事に聞く



競技に関しては、FISの用具のレギュレーションが変わり、これをそのままSAKの大会にあてはめていけば、競技に参加するための負担が更に増えてしまう。お金がかかりすぎるスポーツは、国民的スポーツとはならない。SAKとしては出来るだけ参加しやすい大会としていきたい。

SAJでは今年度教程の改定作業を進めているが、教程が変わるからといって、根本的な技術が変わるわけではない。指導員の方々は自分のもっている技術をよく分析して、自分の技術で教えてほしい。そして用具やメソッドにとらわれ過ぎずに、スノースポーツがこんなに簡単に楽しめるということを伝えてほしい。

スキー界の活性化については、各協会、クラブが果たす役割は大きい。SAKとしては活性化につながる種をまいていきたい。そのためにはマスメディアを利用しての大会のアピール等、広報活動に力をいれていきたい。

■教育本部執行方針■

- ①各事業の充実について
 - ・スキー本来の楽しさを多くの方々に味わって頂くため、専門委員のレベルアップによる皆様へのサービス向上に取り組みます。
- ②選手育成と技術選手権の運営について
 - ・選手育成については、全日本スキー技術選手権大会の決勝進出を目標とした選手強化に取り組みます。
 - ・神奈川県・千葉県共催のスキー技術選手権大会では、参加者増加とスムーズな運営に努めます。
 - ・環富士山スキー技術選手権大会では

オープン参加による底辺の拡大を図ります。

- ③北海道行事について
 - ・更なる内容の充実を図ります。
- ④ハンディキャップ(HC)スキー講習会及びレベルアップ講習会について
 - ・HC委員会を中心にスキー講習会や級別テストを実施します。
 - ・積極的なPR活動によりレベルアップ講習会への参加者増加を図ります。
- ⑤競技本部との連携強化活動について
 - ・専門委員の相互乗り入れを視野に入れた活動を進めて参ります。

■競技本部執行方針■

開かれた競技会を目標に新たな競技者層の発掘に注力した結果、チャレンジカップシリーズなどに成果は現れつつあり、今後も以下の3点に注力し、スキー人口増加と競技スキーの普及に努力していきます。

- ①選手強化について
 - ・ジュニア選手の育成強化は順調に進みレベルも高まりつつあり、それに対応できるよう、指導者に対するセミナー開催で指導者のレベル向上を目指すと共に、指導方針の一本化により選手発掘から団体まで息の長い選手育成を進めます。また、ノルディックとフリ

■総務本部執行方針■

- 活性化委員会の提言を極力取り入れながら、左記項目に注力します。
- ①新事務所構想の検討について
 - ・現在の事務所が手狭になり各種業務に支障が出ています。「新事務所構想」の検討を始めます。
- ②規約・規程類の改正について
 - ・改正された役員選出規程「ブロッック規程」に基づいて運営をいたします。
- ③各種登録について
 - ・スムーズな登録ができるようSAJと連携します。指導員名簿は、SAJから提供されるデータベースを有効利用します。

ースタイルについてはジュニア層への普及活動を重点に取り組みます。

- ②指導者育成について
 - ・各委員会とも大会数、競技人口に比較して、SAJ有資格者が不足しており、安全な大会運営を目指すため加盟団体から優秀な指導者を推薦して頂くと共に、現指導者の再教育、SAJ資格の取得推進などにより指導者の育成強化を進めます。
- ③大会運営について
 - ・今期の大会運営は経費節減が求められており、大会の質を落とすことなく、指導者育成に影響しない範囲で連盟派遣役員を必要最小限に抑さえ、現地役員の増加で経費節減に努めます。

- ④インターネットとマスメディアの活用について
 - ・ホームページの内容充実とともに、「ジャーナル」「グラフィック」「神奈川新聞」「テレビ神奈川」等と連携し、マスメディア活用を進めます。
- ⑤協賛会員の拡大と充実について
 - ・協賛会員の獲得に努力いたします。
 - ・協賛会員との連携を強め、特に協賛ゲレンデの使用・充実を図ります。
- ⑥北海道事業について
 - ・新たな試みとして、千葉県スキー連盟との合同開催を検討していきます。
- ⑦スノーボード委員会について
 - ・総務本部の中に位置付け、基盤(検定会、指導員体制等)作りに取り組めます。

平成16年度 教育本部行事計画

1. 連盟主催事業

HC=ハンディキャップ参加の可否

No.	行事名	内 容	会 場	期 日	HC	担当理事
1	指導員研修会(理論)	指導員研修会理論	川崎市教育文化会館	15/11/8(土)		清 水
2	指導員養成講習会	指導員養成講習会・理論1	かながわ労働プラザ	15/10/19(日)		菊 地
		指導員養成講習会・理論2	かながわ労働プラザ	15/11/2(日)		
3	車山行事 I	SAK専門員研修会 指導員研修会(A) 公認検定員クリニック(A)	車山高原	15/12/5(金) 15/12/6(土)~ 12/7(日)		菊 地
4	北海道行事	指導員研修会(B) クリニック(B) 指導員養成講習会(A) 基礎スキー技術強化合宿(A) クラウン・テクニカル講習検定会(A) 県民スキー・スノーボード教室	北 海 道	15/12/9(火)~ 12/14(日)		総務本部 清 水
5	野辺山行事	指導員研修会(C) クリニック(C)	野辺山スポーツランド	16/1/3(土)~ 1/4(日)		清 水
6	五竜行事 I	指導員研修会(D) クリニック(D) 指導員養成講習会(B) レベルアップ講習会(A) 基礎スキー技術強化合宿(B) パトロール養成講習会(A) 障害をもつ方のためのスキー教室	白馬五竜	16/1/16(金)~ 1/18(日)		木 村 可
7	車山行事 II	第3回SAK・SACスキー技術選手権大会 兼全日本スキー技術選手権選考会 第9回学生スキー技術選手権	車山高原 ※特別研究会 (指導員会主催)	16/1/23(金)~ 1/25(日) (千葉県と共催)	可 可	菊 地
8	五竜行事 II	指導員養成講習会(C) パトロール養成講習会(B) SAK専門委員強化合宿(A)	白馬五竜	16/1/31(土)~ 2/1(日)	可	清 水
9	車山行事 III	指導員養成講習会(D) レベルアップ講習会(B)	車山高原	16/2/13(金)~ 2/15(日)	可	木 村
10	八方行事 I	基礎スキー技術強化合宿(C)	未 定	16/2月中旬予定		堀
11	五竜行事 III	指導員養成講習会(E) クラウン・テクニカル講習検定会	白馬五竜	16/2/21(土)~ 2/22(日)	可	木 村
12	車山行事 IV	準指導員検定会(理論・実技) BC級公認検定員検定会(A)	車山高原	16/3/5(金)~ 3/7(日)		清 水
13	八方行事 II	基礎スキー技術強化合宿(D) SAK専門委員強化合宿(B)	未 定	16/3/8(月)~3/10(水) 16/3/10(水)~3/15(月)		堀
14	五竜行事 IV	第3回環富士山スキー技術選手権	白馬五竜	16/3/20(土)~ 3/21(日)	可	木 村
15	車山行事 V	指導員研修会(E) クリニック(E) BC級公認検定員検定会(B) 障害をもつ方のためのスキー教室	車山高原	16/3/27(土)~ 3/28(日)		菊 地 可
16	海外スキー	2004SAKフランススキーツアー	シャモニー/パリ	16/3/16(火)~ 3/24(水)		総務本部

2. スノーボード事業

1	スノーボード教室	北 海 道	15/12/9(火)~12/14(日)		百 海
2	スノーボード指導員養成講習会 第1回	車山高原	15/12/20(土)~12/21(日)		百 海
3	スノーボード指導員研修会 第1回 スノーボード指導員養成講習会 第2回 スノーボード技術レベルアップ講習会 第1回	白馬五竜	16/1/17(土)~1/18(日)		百 海
4	スノーボード指導員研修会 第2回 スノーボード指導員養成講習会 第3回 スノーボード技術レベルアップ講習会 第2回 スノーボード級別テスト	車山高原	16/2/14(土)~2/15(日)		百 海
5	SAJスノーボード準指導員検定会	車山高原	16/3/5(金)~3/7(日)		百 海

平成16年度 競技本部行事計画

1. 連盟主催事業

HC=ハンディキャップ参加の可否

No.	行 事 名	会 場	期 日	HC	担 当 理 事
1	第2回チャレンジCUP第1戦野辺山大会	野 辺 山	15/12/19(金)~12/21(日)		本 宮
2	第62回神奈川県選手権・ノルディック	池 の 平	16/1/2(金)~1/3(土)	可	平 沢
3	第9回南関東ノルディック競技会 兼第59回国体神奈川県選考会	池 の 平	16/1/16(金)~1/18(日)	可	平 沢
4	第26回神奈川県民体育大会・ノルディック	池 の 平	16/1/16(金)~1/18(日)	可	平 沢
5	第5回ノルディックマスターズ選手権	池 の 平	16/1/16(金)~1/18(日)	可	平 沢
6	第2回SAJ公認神奈川県マスターズ第1戦 兼第5回神奈川県ジュニア選手権	上越国際	16/1/16(金)~1/17(土)		菊 地
7	第26回神奈川県民体育大会・アルペン	上越国際	16/1/17(土)~1/18(日)	可	菊 地
8	第59回国体神奈川県選考会	上越国際	16/1/18(日)~1/19(月)	可	菊 地
9	第21回神奈川県選手権・スピード系	上越国際	16/1/19(月)~1/20(火)		菊 地
10	第5回SAKモーグル記録会 (SAJB級予選)	さのさか	16/1/26(月)	可	栗 田
11	SAJB級公認第5回神奈川県モーグル競技会	さのさか	16/1/26(月)~1/27(火)	可	栗 田
12	第2回チャレンジCUP第2戦岩岳大会 兼第5回クラブ対抗アルペン競技会	岩 岳	16/1/30(金)~2/1(日)		本 宮
13	HCチャレンジカップ岩岳大会	岩 岳	16/1/30(金)~2/1(日)	可	本 宮
14	第55回神奈川県総合体育大会	白馬五竜	16/2/27(金)~2/29(日)		栗 田
15	神奈川県マスターズ選手権 第2戦	八 海 山	16/2/28(土)~2/29(日)		菊 地
16	第62回神奈川県スキー選手権・アルペン	上越国際	16/3/5(金)~3/7(日)	可	本 宮
17	第4回歩くスキー兼技能テスト	池 の 平	16/4/3(土)~4/4(日)		平 沢
18	HC歩くスキー	池 の 平	16/4/3(土)~4/4(日)	可	平 沢
19	第2回チャレンジCUP第3戦野辺山大会	野 辺 山	16/4/2(金)~4/3(土)		本 宮
20	第1回トールカップスキーフェスティバル	野 辺 山	16/4/4(日)		本 宮
21	第5回クラブ対抗駅伝競技大会	相 模 原	16/5/16(日)		平 沢

2. 連盟主催 競技力向上・普及合宿

1	ノルディック秋季ローラー合宿	相 模 原	15/9/13(土)~9/15(月)		平 沢
2	ノルディック合宿兼フレッシュマン講習会	池 の 平	15/12/29(月)~1/2(金)	可	平 沢
3	アルペンジュニア総合合宿 (I)	野 辺 山	15/12/28(日)~12/30(火)		菊 地
4	アルペンジュニア総合合宿 (II)	八 幡 平	16/4/26(月)~5/2(日)		菊 地

3. スノーボード事業

競技関連

1	スノーボードクロス	志賀・焼額	16/1/16(金)~1/18(日)		百 海
2	FIS公認第9回スノーボード神奈川県選手権 南関東大会	尾瀬戸倉	16/1/23(金)~1/25(日)		百 海
3	第4回SAK・SACスノーボード技術選手権 南関東大会	菅平高原 ハーレスキー場	16/2/28(土)~2/29(日)		百 海
4	第9回スノーボード選手権南関東大会	栄倶楽部スキー場	16/3/26(金)~3/28(日)		百 海
5	スノーボードレーシングキャンプ	志賀・一の瀬	16/1/2(金)~1/4(日)		百 海



指導員会だより

幹事長 藤木 昇



新しい風を読む

会長 水島 秀夫

新生神奈川県スキー指導員会創立から今年で二十周年を迎えました。初代会長の松浦益司郎先生から数え、この度六代目の会長に選出されました。歴代の会長の偉大な足跡を活す事の無いよう初心に返って、会員の皆様方のためになる執行に向けて幹事一同と誠心誠意取り組んでいく覚悟です。

時代の変遷とスキーヤーを取り巻く環境の変化などを考慮して、神奈川県スキー指導員会の目指す「グラウンドデザイン」を早急に描きたいと思っております。時代の「風」を素早く読んで(財)神奈川県スキー連盟、各協会などの関連団体との協調、融和を図りながら、スキー地盤の底上げを図りたいと願っております。皆様方の一層のご支援を切にお願い致します。

指導員会新役員決まる

- 名誉会長：大澤 佑吉(川崎)
- 会長：水島 秀夫(横浜)
- 副会長：古藤 公昭(津久井)
- 草薙 純也(横須賀)
- 大山 重彦(横浜)
- 幹事長：藤木 昇(横浜)
- 副幹事長：平賀 淳夫(川崎)
- 島村 一男(小田原)
- 岡本 秀明(相模原)

総務部4名、財務部2名、事業部3名、会員サービス部3名、広報部2名、監査役2名、顧問13名、参与2名を含む総勢40名の役員で臨みます。皆様どうぞよろしく願います。退任された幹事のみなさん長い間ありがとうございました。



前 役員のみなさん

平成16年度事業案内

- ①スキーの性能を生かすためのコンテイションングトレーニング講習会
9月15日、10月4日、10月18日、11月15日
横浜市金沢区 鳥浜振興会館体育館
参加費：4,000円(4回)
講師：元全日本ナショナルチームコーチ 塚脇 誠氏
- ②第67回親睦「ゴルフコンペ」(秋季大会)
H15年10月23日(木)
箱根湯の花「ゴルフ場」
参加費：3,000円(予定)
- ③第2回ランクアップスキー教室
(雪上トレーニング講習会)
H15年12月13日(土) ～ 14日(日)
奥志賀高原スキー場
- ④第17回特別研究会
H16年1月23日(金) ～ 25日(日)
車山高原スキー場
- ⑤2月草津特別企画
(熟年者) 集いましょう！
H16年2月1日(日) ～ 4日(水)
群馬県・草津国際スキー場
- ⑥第4回車山チャレンジカップ
H16年2月14日(土)
車山高原スキー場
- ⑦第23回オール神奈川県スキーヤーズ大会 兼 第2回神奈川県マスターズ選手権大会2連戦(第2戦)
H16年2月28日(土) ～ 29日(日)

新潟県 八海山麓スキー場
※午前中ポール講習会あり

- ⑧エンジョイスキーin小海
H16年3月3日(水) ～ 5日(金)
小海リエックス・スキーバレー
- ⑨第20回指導員フェスティバル
H16年4月3日(土) ～ 4日(日)
車山高原スキー場

⑩第68回親睦「ゴルフコンペ」春期大会
※以上の行事に皆様のご参加をお待ちしております。

詳細は指導員会ホームページをご覧ください。

ホームページ

S・I・Kに注目！

来るべきシーズンの計画満載

お陰様で会員の皆さまに有用な情報をタイムリーに提供できるようになりました。目下、SAJ教育本部、SAK、SIJ(日指)、SIK(県指)のスケジューリングを案内しております。皆様の計画にお役立てください。

今後、更に親しまれ役に立つホームページになるよう内容の充実に努めて参ります。皆さまのご来訪をお待ちしております。

URL

<http://www.fsinet.or.jp/~sik/index.htm>

SAKトップに 直撃インタビュー

今回は廣瀬稔SAK副会長へのインタビューです。今後のSAKのあるべき姿など率直に語ってもらいました。

——スキーとの最初の出会い。

高校生の時、知り合いに赤倉に連れていってもらいました。スキーがないので親戚の倉庫を漁り、古い単板のスキーを探し出し靴は山靴で代用です。最後の日に関見峠を越え燕温泉から関温泉に降り、関山の駅まで7kmを一気に滑り降りました。それからすっかりスキーの魅力に取り付かれ夢中になり早くつまくなってスキーを揃えて自在に滑れるようになった。当時はシステムからの導入が主流でしたが、猪谷六合雄の『スキーはパラレルから』という本を手に一人で蔵王に行き、コブの腹を削った横滑りの特訓で、パラレルができるようになったものです。昭和40年にスキー教育使節団として、オーストリア国立スキー学校のクルツケンハウザー教授の推薦でユーエン兄弟が来日しました。12月の燕温泉から3月の八方尾根まで、一シーズン同行しました。当時、勤めていた石油会社

に「一シーズン休ませてください」と話したら、「こなくていい」と。仕方ないから会社をやめたのが27歳の時です。何とかなるだろうと。ただ、スキーで飯を食べるとは思っていなかった。スキーを極めるのに絶好のチャンスだと思った。それから再就職し、現在のコンピュータソフト会社を設立したのが、33歳の時です。

——スキーが一般市民に広がり始めたころですね。

当時SAKでは列車をまるまる借り切つて、横浜駅から蔵王に向けてツアーを組んだものです。道路も整備されてなければ、除雪もしていない。雪山で温泉につかり、非日常的な空間を楽しむ。そうしたことが自分一人ではできない時代です。各協会や県でツアーを組む、それなりの意味がありました。

——今はスキー場へのアクセスは向上しましたが、スキーブームは下火です。

若い世代はゲームや携帯電話のメール交換に夢中です。長引く不況でスキーに行ける回数も減っている。こうした時代はしばらく続くでしょう。では、神奈川県下でスノースポーツを統括する唯一の団体が何をしたらいいのか、そこを議論すべきです。例えば、時代背景も言めて調査・研究を行い、結果を分析する姿勢も大切ですね。

——SAKの今後の役割とは。

SAKには、「神奈川県のスノースポーツ団体を統括する」「SAJと共にスキーの普及活動を行う」という2つの大きな使命があります。その上で、SAKが競技団体としての主体性をもつために、競技に力を入れた方がいいと僕は思っている。ゴルフは点数を競う。テニスも勝ち負けがあるから面白い。スキー競技は速さを競うのが原則で、勝負がはっきりします。

歴史の古いクラブは必ず競技をやっています。僕も横浜スキークラブ時代に県の競技会や草大会に出場していました。俳優の加山雄三さんも当時は県大会に参加していました。いまグレレンデでは先ず親分格が偉そうに滑ってきて、後からクラブのメンバーが一人ずつ滑り、「いまのよかった」などとお互いにはめたたえる。そんなスタイルを続けていたら、若い人たちには受け入れられない。自己満足の世界に浸るのではなく、真剣に勝負を競つてお互いを向上させるのです。



場は、スキー技術選手権しかありません。技術選を進化させ、「コース規制し、タイムを競うなどしてはどうか。採点基準をはっきりさせて選手に公示するのです。今は「コブの小回り」でも、コブを攻める選手と避ける選手がいて不公平です。もっと見ている側に面白く、基準がはっきりわかるように工夫を凝らすことが大切です。

——副会長としてSAKにかかわられて6年経ちました。

スキーの組織を動かすのは難しい。会社と違って指示命令系統がはっきりしませんから。自分が思ったことの2割もできなかったらいいのではないのでしょうか。遊びの団体は平等です。一方でスポーツ団体は親分子分の関係を重んじる保守的なところがあるので、バランス感覚を忘れずに活動したいですね。

新聞記事には記者の哲学に基づく評価がにじみ出ることがあります。「SAKだより」も場合によっては一歩踏み込んで、ピリツと辛口のコラムがあってもいい。そこは期待しています。
(インタビューまとめ 大井智子)

●お詫びと訂正

45号に掲載した検定合格者に漏れがありましたので、改めて掲載します。

【BC級検定員検定会】

会場 車山高原スキー場

日程：平成15年3月28日(土)～30日(日)

B級合格者 角田 直彦(葉山)

——客観性が必要だと。

基礎スキーの世界で唯一優勢を競つ